2014-3-10

社長通信　№109

しっかり止まって、そして見る

「よく注視したはずなのに、実際には見落としていて衝突した」この類の事故が増加しています。

安全不確認（見るべきものをきちんと確認しない）などの『知覚不全』を問題にしなければなりません。

見たつもりでも案外見落としている場合があります。

それを防ぐ為には、「見るべきものをまっすぐ前方で捉え、時間をかけて見る」ことが肝要です。簡単に言いますと

「止まって見る」ことが重要です。これは交通心理学から導き出した結論です。

一時停止、一旦停止など停止線がある所では必ず止まって見て、確認して下さい。

後退時には車を降りて後方確認して下さい。